

理事会だより

第54号 発行:令和3年3月1日

令和2年度第7回(R3.2.16)理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。第7回の理事会は、理事9名中9名が、監事2名中2名が、事務局から1名の職員が出席しました。第7回の議事は、報告5件(事業実績/業務報告/定例監査結果報告書/正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表/令和2年度地区班会議出席状況)、議案1件(正会員の承認)、協議2件(令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)/財政見込)等でした。

事業実績について

12月の受注実績(請負・委任・派遣の合計額)は、3,354万1千円、1月の受注実績(同)は、2,108万5千円でした。前年は12月が3,395万2千円、1月が2,195万7千円で、前年比は12月が98.8%、1月が96.0%となりました。このうち派遣業務の実績は、12月が1,448万8千円、1月が973万5千円でした。前年は12月が1,300万3千円、1月が975万円で、前年比は12月が111.4%、1月が99.8%となりました。派遣事業は新規受注もあり徐々に上向いてきています。請負・委任の職群別の4~1月実績では、除草が7,692万5千円で前年同月の94.0%、剪定が6,729万6千円で前年同月の92.5%でした。また、会員数は、1月末現在で、952名(男618名、女334名)となり、今年度に入って、2名の増(男12名減、女14名増)となっています。これは資格喪失者が30名もあったため9月末に898名まで減少しましたが、10月以降大幅に増加してきたためです。特に女性の増加が目立ちます。

業務報告について

12月15日から2月15日までのセンターの業務及び理事長・常務理事の勤務実績(理事長12月~19日、1月~18日、常務理事12月~17日、1月~17日)の報告をしました。

定例監査結果報告書について

加納監事から総評については、苦情等の状況、対応についての検証で、速やかな対応と処理がされているとの報告があり、また会計

監査については、特に指摘事項はありませんでした。また、宇田監事から業務監査については、受取事務費の実質的な比率及び受取材料費と支払材料費の差額の適正化が10月以降改善に向かっているとの報告がありました。

正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について

1月末現在のシルバーの収支状況は、930万4千円ほど収入が支出を上回っている状況です。前年同月では1,645万8千円収入が支出を上回っていました。昨年度より収支差額が下回っているのは、収入面では事務費、材料費差額等が減になっているのと、昨年度は大社連絡所の移転補償費が入っていたためです。支出では、人件費、管理費は下がっていますが、事業費が増になっているのは、昨年度事業収入が伸びたこと等による消費税が増加したのが主な要因です。なお、正味財産の1月末残高は4,465万5千円となっています。

令和2年度地区班会議の出席状況について

今年度の地区班会議については、昨年と同様のブロック別で開催しましたが、コロナ禍の中で非常に低調で、全体で70/951人、割合にして7%の出席率でした。

正会員の承認について

1月8日から2月12日までに受け付けた7名(男性3名、女性4名)の入会が承認されました。

令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について

令和3年度事業計画(案)は協議し、ほぼ案がまとまりました。収支予算書(案)については経常収益、費用が対前年度で2,736万6千円減となりました。

財政見込について

今年度に入り、新型コロナの影響もあり、4月~1月の実績で、請負・委任業務が対前年度比で約6%減、派遣業務は徐々に伸びて約8%の減となっており、この時点で今年度の収支見込は、約728万円プラスとなっています。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は8名です。

次の理事会の予定: 4月20日(火) (13:30-16:30 センター会議室)